

	観察・記録の的確性とチームケアへの展開	
--	---------------------	--

担当講師名

沖縄県介護福祉士会

理事 桑江 貴英

研修領域	実施期日	会 場
連携領域	令和 8 年 1 月 31 日（土）	沖縄県総合福祉センター西棟 3 階第 2 会議室

到達目標

- ① 適切な介護過程の実践のための観察能力を高める。
- ② 知識や技術に基づいた介護過程の展開を言語化でき、計画に沿った介護行為を適切に記述できるようにする。
- ③ 適切に記述された記録に基づき日々の業務で実践・活用できる。
- ④ 介護過程に基づいた適切な記録により情報共有ができ、適切なチームケアが実践できる。
- ⑤ 記録の意義・機能・方法について、後輩等に指導できる。

修了時の評価ポイント

- ① 具体的な記録例について、不十分な点を指摘し、その背景にある不十分なかかわり・不適切な介護過程を指摘できるとともに、観察すべきポイント、記録すべき内容について具体的に指摘できる。
- ② 記録の機能・考え方や形式などを理解し、専門的な観察と記録がチームケアで、大きな有意性を持っていることが理解できる。

テキスト・使用教材等

- ・当該科目の事前課題
- ・科目「ケア場面の気づきと助言」事後課題
- ・テキスト「介護職のための記録の書き方」（看護の科学社）
- ・質の高い介護サービスの提供に向けた介護業務分析に関する調査研究事業報告書（公益社団法人日本介護福祉士会）
- ・DVD「介護職員のこころがけ」第一法規
- ・回復期リハビリ病棟看護記録（SOAP）
- ・第 29 回 & 第 30 回介護福祉士国家試験問題（介護過程）
- ・伝説の走塁（動画）・神になった絶体絶命の PK 戦（アジアカップ日本代表 VS ヨルダン 2004）
- ・「洞察力」宮本慎也（ダイヤモンド社）

自職場等課題

【事前課題のねらい】

適切に記述された記録に基づき日々の業務で実践・活用できるようにする。また日々の観察と記録の不十分などところを見出し、今後の記録に生かすことができるとともに、後輩等に指導することができるようになる。

【事前課題の内容】

記録の書き方について、「介護福祉士のための記録研修会」配布資料（田中安平講師）及びテキスト「介護職のための記録の書き方」（看護の科学社）で学習し、自職場で記載した介護記録を適切な文章に書き直して下さい。また書き直した後と書き直す前の記録を比較し、適切に記述された記録を書くための実践的視点について 1200 文字でまとめて下さい（例えば、その背景にある不十分なかかわり、不適切な介護過程、観察すべきポイント等）。実践的視点とは、介護福祉士が適切な記録を書くために体得しておかなければならない専門的視点のことをいいます。

【事後課題のねらい】

的確な観察と記録を実践するためには、後輩等への指導を通して観察能力の向上と適切な記録を記述する視点が必要であることを認識する。

【事後課題の内容】

観察・記録について一人の後輩等に指導を行い、その後後輩等よりフィードバックを受けたうえで指導のあり方について評価して下さい。そのうえで今回の研修内容を意識して記録した評価結果を 1200 文字でまとめて下さい。指導する観察・記録の様式は特に問いませんが、後輩等とのやり取りが分かる資料を提出して下さい。